

平成24年5月11日

各位

会社名 株式会社 アサカ 理研  
 代表者名 代表取締役社長 山田 慶太  
 (コード番号: 5724)  
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 忍  
 TEL. 024-944-4744(代)

平成24年9月期第2四半期累計業績予想と実績との差異、通期業績予想の修正、  
 及び配当予想の修正についてのお知らせ

平成23年11月11日に公表した平成24年9月期第2四半期連結累計期間(平成23年10月1日～平成24年3月31日)の業績予想と実績との差異、最近の業績の動向等を踏まえた、通期(平成23年10月1日～平成24年9月30日)の連結業績予想の修正と、これらを踏まえた配当予想の修正について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 平成24年9月期第2四半期累計業績予想と実績との差異について

(1) 第2四半期累計期間 連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	7,435	252	144	72	28円99銭
実績(B)	7,322	165	52	29	11円86銭
増減額(B-A)	-113	-86	-91	-42	-
増減率	-1.5%	-34.3%	-63.4%	-59.1%	-
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期第2四半期)	6,052	257	243	20	8円43銭

(2) 差異が生じた理由

当社グループの主要な取引先が属する電子部品・デバイス工業分野においては、スマートフォンやタブレット端末の普及という追い風はあるものの、円高や世界的な景気減速の影響によって、全体として生産数量が減少しました。これにより、主力の貴金属事業、環境事業ともに、当期間における主要製品の取扱い数量は、当初計画を下回りました。

一方、主力製品である貴金属及び銅の価格は、為替が円高で推移する中でも、比較的高い水準で推移しました。当期間においては、金の価格を4,100円/g、銅の価格を550千円/tと想定しておりましたが、いずれも想定を上回る水準で推移しました。

以上により、貴金属事業の売上高は、貴金属価格の上昇による影響を受けながらも、取り扱い数

量の減少による影響分を補いきれず、120百万円減少しました。一方、環境事業においては、銅価格の上昇が、数量減少による影響を上回り、売上高は、15百万円増加しました。これらの結果、連結売上高は、前回予想に対し、113百万円減少の、7,322百万円となりました。

利益面では、売上高の減少と販売構成の変化による利益率の低下、及び新規事業への先行投資の実施等によって、連結営業利益は、165百万円、連結経常利益は、52百万円、連結四半期純利益は、29百万円となり、いずれも前回予想を下回りました。

## 2. 平成24年9月期 通期業績予想の修正について

(1)通期 連結業績(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	15,804	558	443	221	89円15銭
今回発表予想(B)	14,321	310	205	105	42円55銭
増減額(B-A)	-1,483	-248	-237	-115	-
増減率	-9.4%	-44.4%	-53.7%	-52.3%	-
(ご参考)前期実績 (平成23年9月期)	13,077	457	542	193	77円80銭

### (2)修正の理由

上述の通り、当社グループの経営成績に影響を及ぼす電子部品・デバイス工業分野の生産は、足元で落ち込んでおります。今後、同分野においては、依然堅調なスマートフォンやタブレット端末の需要に加え、タイ洪水の影響から脱しつつある自動車関連業界の復調に伴い、徐々に回復していくものと予想しておりますが、全体としては厳しい状況が続くものと予想され、下期においても、当初計画で想定した販売数量を下回ると見込んでおります。

一方、貴金属及び銅の価格は、当初計画の想定を上回って推移してきており、特に銅価格については、当初計画の想定と乖離しているため、今後の想定価格を、600千円/tに変更しております。金価格については、ギリシャでの政治混迷を背景に足元で下落しており、先行きの不透明感も高まっていることから、今後の想定価格を、4,000円/gに変更しております。

以上により、通期の連結売上高は、前回予想を下回る14,321百万円となる見込みです。

利益面では、売上高の減少によって、連結営業利益は、310百万円、連結経常利益は、205百万円、連結当期純利益は、105百万円となり、いずれも前回予想を下回る見込みです。

### 3. 配当予想の修正について

当社は、株主への利益還元については、重要な政策であると認識しており、また同時に今後の事業展開に備えるための内部留保を充実させることも必要であり、業績に裏づけされた成果の配分を行なっていく方針としております。

当初の想定と比較して、電子部品・デバイス工業分野の生産回復に遅れが見られ、厳しい経営環境が続いております。当期の業績は、当初計画を下回る見込みであることから、当期の1株当たり配当予想を、前期実績と同額の15円に修正いたします。

(単位:円)

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成23年11月11日発表)	-	0.00	-	18.00	18.00
今回発表予想			-	15.00	15.00
当期実績	-	0.00			
前期(平成23年9月期)実績	-	0.00	-	15.00	15.00

(注) 上記の業績予想は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上